

令和3年6月16日
船工第129号

関係各位

SEA JAPAN 2022 海事クラスター企画委員会

SEA JAPAN 2022 展示会 「テーマゾーン」への出展募集について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、来年4月開催予定の「SEA JAPAN 2022」におきまして、SEA JAPAN 2020と同様に日本財団の助成事業として、日本の海事クラスターによる最先端の研究・技術成果等を紹介するための「テーマゾーン」をジャパンパビリオンに設ける予定としており、国土交通省海事局及び（一社）日本船用工業会が共同で事務局を務め関係団体等で構成する「SEA JAPAN 2022 海事クラスター企画委員会」で展示内容等を検討致します。

つきましては、「テーマゾーン」への出展を希望される場合は、「SEA JAPAN 2022 展示会テーマゾーン参加申込書」を来る7月30日（金）までに下記宛にお申込みを頂きますようお願い申し上げます。

敬 具

記

[出展募集展示会]

「SEA JAPAN 2022 展示会」

開催期間：2022年4月20日（水）～22日（金）

開催場所：東京都 江東区

会 場：東京ビッグサイト 東5・6ホール

[募集内容等]

国、大学、研究所、海運会社、造船所、船用工業メーカーなどが単独または連携して研究・技術開発した（又はしている）案件。展示は、テーマゾーンに設置したテーマ（展示カテゴリー）毎の展示スペースで行います。応募者の展示場所は別紙1の展示カテゴリーを基に企画委員会で決定します。参加申込みにあたっての留意点は別紙2をご参照下さい。

[参加申込書の提出先及び問い合わせ先]

一般社団法人日本船用工業会（SEA JAPAN 2022 海事クラスター企画委員会事務局）

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-13-3 虎ノ門東洋共同ビル

電 話：03-3502-2041 FAX：03-3591-2206

担当：中島 nakajima@jsmea.or.jp/080-4142-2631

山崎 yamasaki@jsmea.or.jp/080-4081-5607

以 上

SEA JAPAN 2022 展示会 ジャパンパビリオン
テーマゾーン 展示カテゴリー

下記のカテゴリー案は、あくまでも応募の参考として示したものであり、今後、応募内容を基に企画委員会で検討し、実際の展示カテゴリー及びその展示品を決定します。従って、日本の海事クラスターによる最先端の研究・技術成果等を紹介する趣旨に沿うものであれば、下記のカテゴリー以外の応募も差し支えありません。

展示カテゴリー	展示内容（案、予定、例示）
1. 総合展示コーナー	我が国の海事施策等の紹介
	我が国の技術開発プログラム等の紹介
	船の歴史
2. 艦艇コーナー	防衛省の取り組み
	海上保安庁の取り組み
3. 海運コーナー	海運会社の取り組み
4. 造船コーナー	造船会社の取り組み
5. 内航・フェリー	新鋭内航・フェリーの紹介
	内航・フェリーに搭載されている最新機器紹介
6. 船級コーナー	日本海事協会の取り組み
7. ゼロエミッション	IMO GHG 削減戦略
	代替燃料技術
	CO2 削減技術
	運航効率改善
	バッテリー カーボンキャプチャ
8. 海洋資源開発	海洋資源開発関連の最新技術
	海洋再生可能エネルギー利用技術
	j-Ocean 関連の技術開発
9. 自動運航	MEGURI2040 関連の技術開発
	自動運航関連の最新技術
	i-Shipping 関連の技術開発
10. 研究テーマ（産官学 合同研究など）	将来の革新的な船舶技術コンセプト
	国際基準・標準への適合
	ライフサイクル評価
	スマートナビゲーション研究会4
	PLC（高速電力線通信）関連技術
その他先進的研究課題	
11. その他	上記以外の新技術、研究・技術開発等の紹介

SEA JAPAN 2022 展示会「テーマゾーン」
参加申込みにあたっての留意点

SEA JAPAN 2022 展示会「テーマゾーン」の参加申込みをするにあたり、次の点についてあらかじめご留意願います。

1. テーマゾーンの目的と出展の採択について

テーマゾーンは、日本の海事クラスターによる最先端の研究・技術成果等を紹介することが主な目的となります。そのため、この目的に相当しない個別製品・技術等を紹介する出展の参加申し込みはご遠慮ください。

参加申込みいただいた内容について、「SEA JAPAN 2022 海事クラスター企画委員会」（以下「委員会」という。）で検討のうえ採否を決定しますので、出展のご希望に添えない場合があることを予めご了承願います。

なお、展示方法等については、出展者と調整しつつ最終的に委員会で決定します。

2. 費用について

出展費用については、日本財団の助成及び海事関係団体の協力の下、スペース料、スタンド設営費用等を「委員会」で負担致します。それ以外の費用につきましては、原則として出展者のご負担となります。費用負担の主な範囲は次のとおりです。

(1) 委員会が負担する経費

- ①スペース料
- ②テーマゾーンスタンド基本デザインに係る設営及び解体等の工事に関わる経費
- ③テーマゾーンに掲出する出展者名表示板の製作費
- ④单相100V電気幹線工事費・電気使用料
- ⑤出品スペース内の床清掃及びゴミ処理費用

(2) 出展者が負担する主な経費の例（原則として）

- ①展示物の製作費
- ②貨物の輸送費及び付帯経費
- ③貨物の輸送中の事故に対する損害等の保険料
- ④特殊電源の電気幹線工事費・電気使用料
- ⑤展示物の据付、撤去及び空き箱等の保管に係る経費

3. その他

展示に関しては、消防法、会場規則、展示会規則等に従って行うこととします。

以上

SEA JAPAN 2022 展示会テーマゾーン参加申込書

SEA JAPAN 2022 展示会 「テーマゾーン」への出展について、次のとおり申込みいたします。

法 人 名：

ご担当者名：

所属・役職：

住 所：

E-mail：

電 話：

1. 出展物に関する研究・技術開発プロジェクト名・新技術名

ディーゼル機関の省エネ技術の研究開発

2. 別紙の展示テーマに沿ったカテゴリー

7. ゼロエミッション

※別紙1に合致するものがあれば記入してください。合致しなければ新規提案のカテゴリーをご記入願います

3. 展示可能な出展物に○をして下さい

	製 品	(サイズ：タテ mm×ヨコ mm×高さ mm)
○	模 型	(サイズ：タテ mm×ヨコ mm×高さ mm) 100mm×200mm×180mm (展示台・防護カバー含む)
○	パネル	A1 サイズ タテ
○	映 像	検証実験 DVD (約 10 分)
	その他	

4. 出展物に関する研究・技術開発プロジェクト・新技術の概要（自由記載：写真、図、絵、プレス発表資料、論文等の参考資料がありましたら電子データの添付をお願いします。）

従来のディーゼル機関と比較して燃料消費〇%削減を目標とする技術を海運会社、造船会社、船用メーカー等と共同で研究開発し...

5. 申込み案件の自主開発又は共同開発の区分（該当する区分に〇をして下さい。共同開発の場合は、その相手方名もご記入下さい）。

	自主開発	
〇	共同開発	（共同開発者名） 〇〇海運、〇〇造船、〇〇内燃機、〇〇大学

6. 申込み案件の開発等にあたり、国、地方自治体、団体等の補助金等の交付を受けた実績がある場合は、その交付元及び名称（事業名等）をご記入下さい。

交付元	〇〇省〇〇局
名称 (事業名等)	平成〇〇年度 〇〇研究開発補助金

以上